



日本ライフセービング協会A種認定競技会  
 第6回神奈川県ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会  
 【 競技審判員・スタッフ募集要項 】

- 開催日：2020年3月1日（日）
- 会場：平塚総合体育館温水プール（神奈川県平塚市1-1・平塚総合運動総合公園内）
- 主催：特定非営利活動法人神奈川県ライフセービング協会
- 後援：神奈川県・平塚市・平塚市教育委員会・一般社団法人神奈川県水泳連盟  
 公益財団法人日本ライフセービング協会（含申請中）
- 協賛：GUARD SHOP
- 協力：平塚市水泳協会・湘南ひらつかライフセービングクラブ
- 助成：スポーツ振興くじ助成「toto」

スポーツくじ



- 大会認定：日本ライフセービング協会A種認定競技会

■競技種目

[個人種目]

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| 1. ジュニアチューブスイム(50m)     | (小学生 1.2年混合) |
| 2. 障害物スイム(50m)          | (小学生 3.4年女子) |
| 3. 障害物スイム(50m)          | (小学生 3.4年男子) |
| 4. 障害物スイム(50m)          | (小学生 5.6年女子) |
| 5. 障害物スイム(50m)          | (小学生 5.6年男子) |
| 6. 障害物スイム(100m)         | (中学生 女子)     |
| 7. 障害物スイム(100m)         | (中学生 男子)     |
| 8. レスキューチューブトウ(100m)    | (小学生 3.4年女子) |
| 9. レスキューチューブトウ(100m)    | (小学生 3.4年男子) |
| 10. レスキューチューブトウ(100m)   | (小学生 5.6年女子) |
| 11. レスキューチューブトウ(100m)   | (小学生 5.6年男子) |
| 12. マネキントウ・ウィズフィン(100m) | (中学生 女子)     |
| 13. マネキントウ・ウィズフィン(100m) | (中学生 男子)     |

[チーム種目]

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| 14. 障害物リレー(4×50m)       | (小学生 3~6年混合) |
| 15. 障害物リレー(4×50m)       | (中学生 女子)     |
| 16. 障害物リレー(4×50m)       | (中学生 男子)     |
| 17. レスキューチューブリレー(4×50m) | (小学生 3~6年混合) |
| 18. メドレーリレー(4×50m)      | (中学生 女子)     |
| 19. メドレーリレー(4×50m)      | (中学生 男子)     |
| 20. ラインスロー(10m)         | (小学生 5.6年女子) |
| 21. ラインスロー(10m)         | (小学生 5.6年男子) |
| 22. ラインスロー(10m)         | (中学生 女子)     |
| 23. ラインスロー(10m)         | (中学生 男子)     |

※ 全種目において、タイム決勝とします。

※ チーム種目については1クラブから複数チーム出場することができます。ただし、同一種目において同じ選手が複数チームから出場することはできません。

- ※ チーム種目「4×50m障害物リレー」(小学生 3~6 年混合)「4×50mレスキューチューブリレー」(小学生 3~6 年混合)において、男女同一および男女別は問いません。
- ※ 100mマネキントウ・ウィズフィンの種目については、ハンドラーが必要です。エントリーした競技者(小学生を除く)の中からマネキン・ハンドラーを選び、競技者と同じチームキャップを着用すること。
- ※ 使用するフィンは各自準備してください。なお、安全を考慮しゴムフィンのみとします。カーボンファイバーやグラスファイバー素材などの硬いフィンは使用不可とします。

### ■競技種目について

ドライレスキューの観点から、今大会では「ラインスロー」(小学生 5.6 年生)を導入します。距離については、規則では 12.5m とありますが、小学 5.6 年生については中学生と同じ 10m とします。他の規則については規定通りとしますので、出場を希望する競技者においては必ず、クラブの競技指導員や大会規則に熟知している方に指導を受け練習してください。

### ■タイムテーブル

締め切り後、当協会ウェブサイト「<http://lifesaving.ne.jp/>」に掲載します。競技役員入場は 8 時 30 分頃を予定しています。

### ■募集概要

①審判員 (C級審判員資格以上の方) 35 名程度

②スタッフ 35 名程度 (中学生以上)

- 1) 安全課……………主にウォーミングアッププールの水面監視 (5 名程度)
- 2) マネキン補助員……マネキン競技・障害物競技に関すること (25 名程度)
- 3) 大会運営補助員……大会事務局付きとして大会運営をサポート (3~5 名程度)
  - ※ 審判・スタッフとも担当係につきましては実行委員会で決めさせていただきます。
  - ※ 審判員は、JLA 審判員履歴としてカウントされます。

### ■参加条件

①審判員

- 1) 有効な審判員資格を取得していること
- 2) 登録管理システム「LIFESAVERS」にて必ず資格の登録および登録費の支払いが完了していること。
- 3) 本大会に競技者登録をしていない方

②スタッフ

- 1) 中学生以上の方
- 2) 責任を持って役割を遂行できること
- 3) 安全課を担当する場合は、プールライフガードまたはサーフライフセーバーBASIC 以上の資格を保持していること

### ■競技役員会議

競技進行や競技上の注意事項について説明する会議を、大会当日 7 時 45 分より、プール玄関前にて実施いたしますので、審判員およびスタッフの方は必ずご出席ください。

### ■その他

#### ●交通費

1. 審判員…後日、実費交通費をご指定の口座までお振込みいたします。(上限 5,000 円)
2. スタッフ…後日、実費交通費をご指定の口座までお振込みいたします。(上限 5,000 円)

- ※ 交通費は、お申込みサイト「交通費」欄にて「最寄り駅（バス停）」と「利用する公共交通機関名」「経路」をご記入の上、ご申請下さい。
- ※ 特別運賃、特急料金等は計算の対象外となりますのでご注意ください。
- ※ お車で来場される場合も、公共交通機関（特別運賃、特急運賃等は除く）の運賃にて計算します。
- ※ 振込先金融機関口座名義は、必ずご本人と同じ名義の口座にてお願いいたします。助成金等支出に関する規定により、ご本人と口座名義が違う場合、お支払いできません。
- ※ ご不明なことがございましたら、事前に事務局までお問合せ下さい。

## ●食 事

大会当日の昼食（お弁当）お茶（会場にて配布いたします）※朝食のご用意はありません。

## ●ユニフォーム

### 1. 審判員

公式ユニフォーム【白ポロシャツ・紺短パン・白帽子・審判員カード】を用意してください。また、笛、ペン、水着、室内シューズ（靴裏面が白）、靴下も各自準備願います。

### 2. スタッフ

白いポロシャツまたは襟付きの白シャツ、チノパン、室内シューズを用意してください。また、競技役員スタッフは水着、ウェットスーツ、防寒着などを用意してください。

- ※ 審判員・スタッフとも、ご自分が所属しているチームユニフォーム等での参加はできません。
- ※ 大会中の貴重品は、各個人での管理をお願いします。
- ※ 大会中は、両手の空くウエストポーチをご活用ください。

## ■競技方法

本競技会規則は、日本ライフセービング協会発刊の「ライフセービング競技規則 2019 年版」に則り行います。ただし、記載のない種目については別に記します。

## ■交 通

電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。お車でご来場される場合は、駐車場には台数に限りがございますので、お乗り合わせの上ご来場ください。

## ■お申込方法

当協会ホームページより「デジエントリー（外部サイト）」から申し込んでください。

2 次要項・役割分担表およびその他の情報はメールにてお知らせし、当協会ホームページに掲載いたします。迷惑メール対策をされている方は、デジエントリーからのメールを受信できるように設定をお願いいたします。

●申込み締切日：2020年2月1日（土）23：59

【申込み・詳細】<http://lifesaving.ne.jp/>



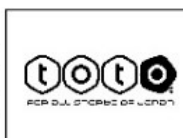
特定非営利活動法人 神奈川県ライフセービング協会

〒251-0038 神奈川県藤沢市鶴沼松が岡 3-17-1

Phone: 0466-60-2212 FAX: 0466-60-2213

URL <http://lifesaving.ne.jp> E-mail [info@lifesaving.ne.jp](mailto:info@lifesaving.ne.jp)

スポーツくじ



# 神奈川県ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会

## 【参加規定】

### 1 参加資格

競技者の参加資格は下記を満たしている者、若しくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1 競技者は、競技会初日に各競技種目の区分またはそれと同様の年齢に達していること。

1-2 競技者は、ライフセービングを志している者とする。

1-3 競技者は、ライフセービングの競技であることを理解し、自分の出場する種目のルールを熟知していること。

1-4 競技者は、自分の安全を確保するため十分練習を積まなければならない。

### 2 チーム構成

2-1 チームは、地域クラブや学校クラブなど、同じ団体に所属している選手により構成されていなければならない。

2-2 チームは、代表者として1名選出すること。代表者は18歳以上で、競技会に関わる規則や規定を理解し責任を持てる者とする。

### 3 出場登録

3-1 競技者は、個人種目、チーム種目にかかわらず あらかじめ所定の申込用紙（データ）を用い登録をしなければならない。なお、登録後の出場種目の変更および未登録種目への出場はできない。

3-2 出場登録は各個人でおこなうこと。

3-3 競技者個人の技術や体力などを充分考慮してエントリーすること。

### 4 ユニフォームおよび競技中の衣類

4-1 式典や表彰式および競技に適したユニフォーム（なければ ジャージ等）、水着、キャップを持たなければならない。

4-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる選手も競技に参加することができない。

4-3 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。スタートの後に、キャップが取れたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

4-4 キャップは、競技会申込締切日までに、JLAより承認されているもの、または、申込締切日までに実行委員会に届け出たものとする。

4-5 チームユニフォーム、水着、キャップなどに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

### 5 参加費

5-1 参加費は、参加申込締切日までに支払わなければならない。

5-2 参加申込締め切り後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、競技会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。

5-3 競技者が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されない。

### 6 表彰

競技種目の上位1位から8位を入賞とする。また、1位から3位は表彰式で表彰する。なお、チーム総合

表彰は行わない。

## 7 競技器材

- 7-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則「競技器材」の基準を満たさなければならない。ただし、本競技会使用するフィンにあっては、安全を考慮しゴムフィンのみとする。カーボンファイバーやグラスファイバー素材のなどの硬いフィンは使用不可とする。
- 7-2 プール競技で使用するレスキューチューブ、マネキン、障害物は、主催団体が用意する。
- 7-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。
- 7-4 ラインスローにおいて、クロスバーとして障害物スイム等の障害物を用いる場合がある。
- 7-5 ジュニアチューブスイムで使用するレスキューチューブは、ライフセービング競技規則で定められているレスキューチューブではなく、ジュニアレスキューチューブを使用する。

## 8 競技規則

- 本競技会はJLA競技規則2019年版及び下記の事項に則り実施する。但し、下記の事項が競技規則2019年版よりも優先される。
- 8-1 本競技会は、代表者会議開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から20分後に終了するものとする。ただし、抗議、上訴または規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。
  - 8-2 全ての競技種目においてタイム決勝とする。
  - 8-3 ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までにマーシャルに集合し、オフィシャルの指示により整列すること。ただし、小学生以下はハンドラーとして出場することができない。
  - 8-4 泳力等の不足や傷病等により競技の続行が危険と判断した場合は、対象競技者の競技を中断することがある。
  - 8-5 本競技会において、フィニッシュジャッジは置かないものとする。
  - 8-6 障害物リレー(4×50m)(小学生3~6年)、レスキューチューブリレー(4×50m)にあっては指定された学年とともに男女混合チームおよび男女別のチームを編成してもよい。ただし、同じ競技者が複数のチームから同一種目に出場することはできない。

## 9 その他

- 9-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を本大会の広報およびライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 9-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 9-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

(以上)

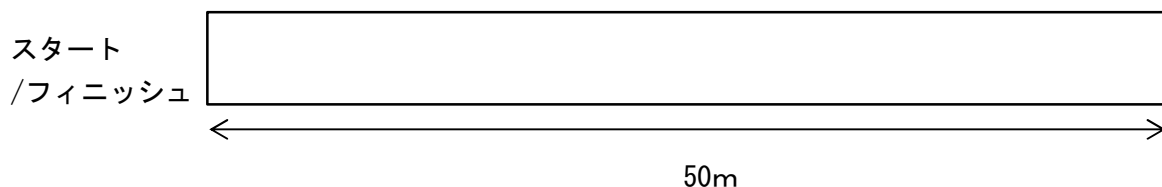


スポーツは育てることができる。

## 競技規則

### ジュニアチューブスイム (50m)

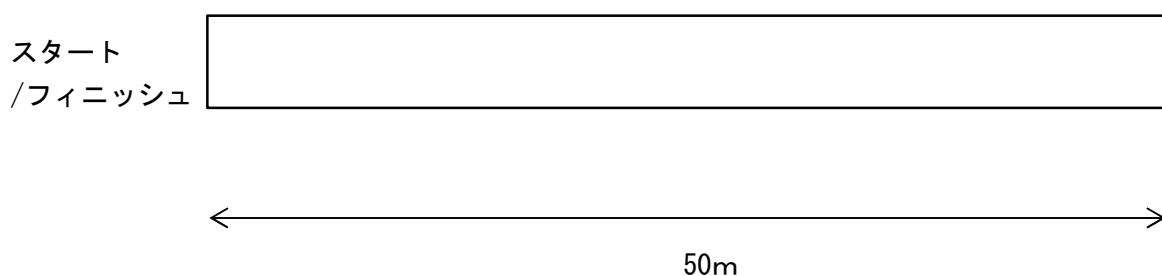
- (1) 競技人数  
1名
- (2) 使用器材  
ジュニアチューブ
- (3) コース  
ジュニアチューブは、スタート前に競技者が安全な位置に準備する。



- (4) 競技の方法
- ① スタートは、JLA 競技規則 2019 年版「3.2.1 飛込スタート」に準じる。
  - ② 競技者は、ジュニアチューブをつけて 50m 泳ぐ。ジュニアチューブを付けてスタートする場合、ジュニアチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたレーン内に位置させる。ただし、競技者は、ジュニアチューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。
  - ③ フィニッシュはジュニアチューブを正しく引いている状態で、はっきりと見えるようにフィニッシュの壁にタッチすること。
- (5) 失 格  
JLA 競技規則 2019 年版総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。
- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
  - ② 競技中にプールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。
  - ③ 競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチしなかった場合。

### 100mレスキューチューブトウ

- (1) 競技人数  
1名
- (2) 使用器材  
レスキューチューブ
- (3) コース  
チューブは、スタート前に競技者が安全な位置に準備する。



- (4) 競技の方法
- ① スタートは、JLA 競技規則 2019 年版「3.2.1 飛込スタート」に準じる。

- ② 競技者は、レスキューチューブをつけて 50m 泳ぐ。レスキューチューブを付けてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたコース内に位置させる。ただし、競技者は、レスキューチューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。
- ③ 競技者は、折返しの壁を手でタッチした後、プールの壁から 5m 以内でレスキューチューブのオーリングとクリップの部分を正しくつけ、フィニッシュまでそれを引っ張る。
- ④ 折返しの壁をタッチした後、プールの壁から 5m を越えたかどうかの判定は、競技者本人の頭頂部を基準とする。
- ⑤ 競技者は、できるだけ速やかにレスキューチューブの紐を十分に伸ばした状態にしなければならない。
- ⑥ レスキューチューブのオーリングとクリップの部分が途中外れた場合は失格とする。
- ⑦ 競技者はスタート後、折返し壁に手でタッチする前にレスキューチューブ本体に触れてはならない。
- ⑧ フィニッシュはレスキューチューブを正しく引いている状態で、はっきりと見えるようにフィニッシュの壁にタッチすること。

(5) 失格

JLA 競技規則 2019 年版総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
- ② 競技者が折返しの壁をタッチする前にレスキューチューブ本体に触れた場合。
- ③ レスキューチューブのオーリングをクリップに正しくつけなかった場合。
- ④ レスキューチューブのオーリングをクリップにつける際、競技者が 5m ラインを越えてしまった場合。
- ⑤ 競技中にプールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。
- ⑥ レスキューチューブを正しく引いていない状態でフィニッシュの壁をタッチした場合。
- ⑦ 競技者がはっきりと見えるようにフィニッシュの壁にタッチしなかった場合。

**4×50mレスキューチューブリレー（4×50m）**

(1) 競技人数

4 名

(2) 使用器材

レスキューチューブ

(3) コース

特になし

スタート

/フィニッシュ



50m

(4) 競技の方法

- ① スタートは、JLA 競技規則 2019 年版「3.2.1 飛込スタート」に準じる。
- ② 第 1 競技者はスタートの合図の後、レスキューチューブを正しく装着し 50m 泳ぎ壁にタッチする。レスキューチューブを付けてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたコース内に位置させる。ただし、競技者はレスキューチューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。

- ③ 第2、第3、第4競技者は、前の競技者がスタートしたら水中に入る。
  - ④ 第2競技者は少なくとも一方の手で壁に触れるか、またはスターティンググリップを掴んで水中で待機し、第1競技者が壁にタッチした後、レスキューチューブの肩掛けの部分を受け取る。その後、レスキューチューブを正しく装着し50m泳ぎ壁にタッチする。
  - ⑤ 第3競技者も第2競技者と同様に、少なくとも一方の手で壁に触れるか、またはスターティンググリップを掴んで水中で待機し、第2競技者が壁にタッチした後、レスキューチューブの肩掛けの部分を受け取る。その後、レスキューチューブを正しく装着し50m泳ぎ壁にタッチする。
  - ⑥ 第4競技者も第2、第3競技者と同様に、少なくとも一方の手で壁に触れるか、またはスターティンググリップを掴んで水中で待機し、第3競技者が壁にタッチした後、レスキューチューブの肩掛けの部分を受け取る。
  - ⑦ 第4競技者はレスキューチューブを正しく装着し50m泳ぎ、はっきりと見えるようにフィニッシュの壁にタッチする。
  - ⑧ 第2競技者は第1競技者が、第3競技者は第2競技者が、第4競技者は第3競技者が50mを泳ぎ壁にタッチする前にレスキューチューブに触れたり、壁やスターティンググリップから離れたりしてはならない。
- (5) 失 格

JLA 競技規則 2019 年版総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
- ② 第1、第2、第3競技者が、それぞれ折返しの壁にタッチする前に第2、第3、第4競技者が、スタートした場合。
- ③ 第1、第2、第3競技者が、それぞれ折返しの壁にタッチする前に第2、第3、第4競技者が壁やスターティンググリップから離れた場合。
- ④ 競技中にプールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。
- ⑤ 第1、第2、第3競技者が、それぞれ折返しの壁にタッチする前に第2、第3、第4競技者がレスキューチューブ（肩掛け部分、紐、その他全ての部分を含む）を触った場合。
- ⑥ 第4競技者が、はっきりと見えるようにフィニッシュの壁にタッチしなかった場合。
- ⑦ 1人の競技者が、2つまたはそれ以上の区間に出場した場合。
- ⑧ 競技者が、自分の区間を終了しプールから出た後に、再度プールに入った場合。

# スポーツくじ



スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。